

走行チェックシート

日付	2013年4月14日 (日)		時間	12:25 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	17 °C			
	コンディション	ドライ			気圧	1016 hpa			
	路面温度	32		(計測時間 12:30)	湿度	40 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	16 × 42(2.625)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-12				
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195		mm		
	イニシャル	14	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-12		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	105.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	11	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+24mm ピボット-2mm スイング長599mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.5				
チェック	順位	9 位		ベストラップ	2' 09" 246(決勝レース中)				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様お待たせしました。第2戦鈴鹿です。もてぎに観戦に来られた方体調崩していませんか？
 前回のもてぎは極寒のレースでした。今回は少し暖かくなるという予報でしたが・・・、金曜・土曜とそれほど気温が上がっていませんでした。
 今回はエントリー台数が60台を越えているためコース上は激混みでした。
 毎回このレースはフォーミュラが走行するため路面のコンディションが良くありません。
 練習走行日に新型リンクのテストを行いました。なかなかいいところが引き出せませんでした。
 予選ではもてぎで使っていた仕様で走行。計時予選で時間が35分ということもありソフト目のタイヤを使用してアタック。
 2' 10" 010で10番グリッドを獲得。
 決勝日はようやく気温が上がってきました。これでタイヤのパフォーマンスが発揮できます。
 決勝レースはスタート直後に順位をさげてしまい13位で一周目を終えました。その後転倒者がいたためセーフティカーが介入し残り10週からレースが再開。全日本初のローリングスタートでしたが無事にスタート。
 序盤はなかなかタイヤを温める事ができず、ペースが上がっていませんでしたが、徐々にタイムが上がり前方の9位争いの集団に追いつきました。
 自己ベスト付近でラップし続けた結果、タイミングよくパスすることができ、残り3周で9位に浮上。
 しかし後続も必死にペースを上げ追いついてくるため引き離す事が出来ません。
 3台もつれたまま最終ラップのシケインに進入。安田選手と競り合っているところに出口選手が割って入りましたが、こらえきれず転倒。
 転倒した出口選手をうまく避けましたが、安田選手には先にいかれてしまい9位でチェッカー。
 今回のレースではベストタイム付近で、ラップし続けることが出来たということが良かったと思います。
 課題は序盤のペースをいかに上げていくかだと思います。
 そのためにはマシンの戦闘力を更に上げることも必要になってくると思います。
 次戦APですがいろいろと試行錯誤しながらマシンもライダーもレベルアップしていきます。
 皆様応援ありがとうございます。
 では九州でお会いしましょう！

レーシングサプライ
 畑中 健太郎